

東駿河湾環状道路の開通にともない 早期無料化とフルインター化を目指す!

東 駿河湾環状道路は平成 26 年 3 月に、三島・函南間の工事が完了します。伊豆中央道に直結することにより伊豆地域の交通の利便性が飛躍的に向上することは確実です。しかし、その際、中央道の江間料金所や信号機が問題となってきます。

中央道の償還期限は、平成 27 年 3 月となっていますが、料金所や信号機があると渋滞のもとになるため、その撤去とフルインター化が待ち望まれております。

静岡県では、信号機の撤去を含めた立体交差によるフルインター化の工事を提案しています。これには大きな予算がかかり、県全体の道路工事

事業からみると、日程や予算が確保できる保証はありません。そこで、道路公社の事業として料金収入を充てて工事を進めようと考えています。

しかし、これでは早期無料化の実現は難しく、平成 35 年まで料金を徴収する計画になってしまいます。本来なら、伊豆の国市内全域を対象とした説明会を開き、地域住民の意見を聞き、伊豆の国市行政と調整して解決していく問題です。

また、修善寺道路との合併採算とのことですが、平成 33 年度には立体交差のフルインターが完成予定にも



江間 IC 周辺整備案

関わらず、2 年間も料金所が残るといっ計画は納得できません。

9 月県議会には、「伊豆中央道」の料金一部変更と「修善寺道路」を合わせた料金徴収についての議案が上程されます。微力ではありますが、伊豆の国市民の代弁者としてしっかりと意見を述べていきます。

県営農業農村整備事業

地域の課題・問題点として要望されている事業が今年度は次のようになりまし

水利施設整備事業 (基幹水利施設保全型)

■南條用水 平成25年~28年度
総事業費 466,000千円
本年 314,800千円
■堂川 平成23年~25年度
総事業費 125,000千円
本年 58,000千円

湛水防除事業 (湛水防除排水施設整備事業)

■毘沙門2期 平成20年~26年度
総事業費 1,158,000千円
本年 472,858千円

農村災害対策 (農村災害対策事業)

■柿沢川南部 平成25年~32年度
総事業費 865,000千円
本年 100,000千円

「葦山反射炉」 富士山に続け! 世界文化遺産登録

富 士山の世界文化遺産登録が実現し、伊豆地域にとっての次なる目標は、「日本の近代化産業遺産群—九州・山口及び関連地域」の構成資産となる「葦山反射炉」の世界文化遺産の登録です。伊豆半島が目指す世界ジオパークの登録も、観光振興にとって大きなインパクトがあるとは言え、やはり世界遺産の知名度は計り知れないものがあります。

この実現に向け反射炉周辺の整備はもちろんのこと、地域の団結や意識の高揚が必要不可欠です。「葦山反射炉」は構成資産の一つとして登録



を目指していくため、伊豆の国市の取り組みが重要となってきます。共にできることから取り組んでいきましょう。

◎ご意見・ご要望などお気軽にお寄せください。

土屋もとよし事務所

〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL. 055-948-9635・055-948-0267 FAX. 055-947-1811

土屋もとよし

検索

URL: www.tsuchiya-m.com

メール会員を募集しております。携帯の方は左記のQRコードを読み込むか、moto@67865.r.at-ml.jp まで空メールをお送り下さい。パソコンの方は moto@tsuchiya-m.com まで「メール会員希望」とご連絡下さい。

静岡県議会議員 [伊豆の国市選出]

もっとよし! レポート。



発行者: 土屋もとよし 発行日: 平成25年9月26日 〒410-2211 伊豆の国市長岡197-1 TEL. 055-948-9635・055-948-0267 FAX. 055-947-1811

土屋もとよし県政報告 Vol.1

こんにちは! 土屋もとよしです。

4 月に行われました静岡県議会議員補欠選挙で、みなさまの力強いご支援により当選をさせていただきました。心より感謝申し上げます。早いもので県議会議員となって、5ヶ月が経とうとしています。

県議会は、静岡県の課題や取り組みを広く県民のみなさまに知っていただくための積極的な情報発信や、県政、事業に対するご意見やご要望などの情報収集もしております。県政報告は、そのための重要な手段となっています。

本来なら、もっと早く私自身の活動や県政の報告をお届けしなければいけなかったのですが、静岡県知事選挙や参議院議員選挙、変則日程の6月議会等により報告が遅くなりましたことをおわび申し上げます。

この間に、富士山の世界文化遺産登録や、南海トラフ大地震の第4次地震・津波被害想定を発表など、静岡県にとって大きなニュースがありました。

これらの情報も含め、県だけでなく、伊豆の国市に関わる県事業や地域周



辺の課題・問題の他、自己研鑽の視察研修なども加えて、県政報告としてお知らせさせていただきます。みなさまの忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

県民生活、建築住宅、環境に関する審議や視察等を行いながら、事業の進捗状況の確認や実施内容の検討をしています。



現在、静岡県議会議員は69名おり、会派制をとっています。私は自民改革会議に所属しており、本会議場での議席から議員控え室、委員会

の所属や質問の順番など、様々な事が会派を通じて決まります。本会議場での私の着席位置は最前列の左から3番目です(9月議会より、質問

方式の変更により座席改修が行われるため、1番左側になる予定です)。

委員会は7委員会あり、私の所属委員会は、「くらし環境委員会」です。県民生活に関すること、建築住宅に関すること、環境に関することを担当しています。委員会審議や視察等を行いながら事業の進捗状況の確認や実施内容を検討します。

また、本会議のない時には、県政や地域の課題、疑問点について調査を行っています。資料収集や職員から事業の説明を聞くことも、大切な日課の一つです。

これからの県政報告

報告書の発行だけでなく地域に向いて意見交換や県政の事業説明、皆様のご要望などを膝を突き合わせて語り合い、地域の課題や問題を解決できたらと思っています。

今後、皆様の所に積極的に向いて行きますので、ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

ユ ネスコの諮問機関イコモスによる現地調査を経て、平成25年6月22日にカンボジアのプノンペンで開催された世界遺産委員会において、富士山が世界文化遺産に登録され、「世界の富士山」として全世界に認知されることとなりました。

これは富士山のもつ「信仰の対象」と「芸術の源泉」を中心とした文化的な価値が認められたためです。

ご存じのように富士山は、山梨・静岡にまたがっているため、信仰や芸術に関わる文化財が広い範囲に点在しています。そのため、これらの文化財を含む、富士山全体を一体のものとして保護・保全する方針や仕組みを示した保存管理計画を策定することが必要になります。

この計画によって、私たちは、富士山をさらに世界文化遺産としてふさわしい状態で、未来に引き継いでいかなければなりません。

富士山を世界遺産としてふさわしい状態で未来へ引き継いでいくために



2 1. 八木沢海岸からの富士山(伊豆市) 2. ゴミ減量大作戦(富士山麓道路沿い) 3. フジアザミ植付活動 4. 植生保全調査パトロール 5. 富士山利用者負担

県・議会の役割

静岡県では、登山者数の制限や登山道の整備、トイレやゴミの問題、弾丸登山による怪我や健康問題など、早急に取り組んでいかなければならない大きな課題が残っています。

県議会も議員連盟を組織し、世界文化遺産にふさわしい環境保全や、地域の観光振興に資する政策の実現に向けて積極的に活動し、県民・行政と共に世界文化遺産の富士山を守っていかねばなりません。

伊豆の役割

富士山の世界文化遺産登録は、富士山周辺だけでなく伊豆地域にとっても大きなチャンスです。この機会を逃さず、基幹産業の観光振興にしっかりと結びつけ、交流人口の増加を図るための施策を伊豆全域が一つとなって推し進める必要があります。

第4次地震被害想定

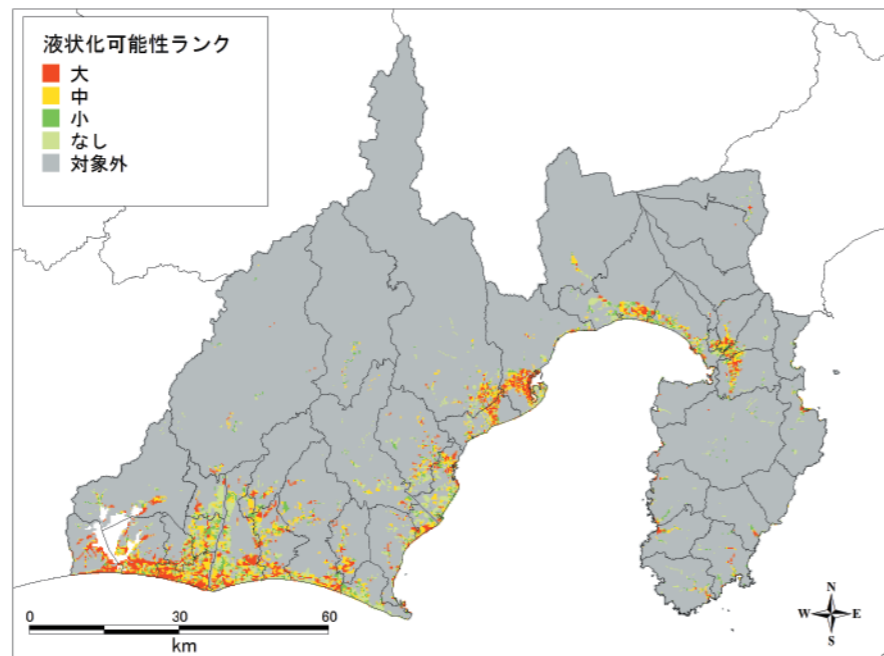
6 月27日、静岡県では、静岡県防災会議を開催し、第4次地震被害想定を公表しました。

県や市町が津波対策を推進する上で不可欠な基礎資料となる津波浸水域の想定はもとより、震度分布や液状化、人的・物的被害を第1次報告としてとりまとめました。ライフラインや交通施設、経済的被害などの第2次報告は、今年秋に公表します。

この報告に併せて、「地震・津波対策アクションプログラム2013」が策定され、想定される被害をできるだけ軽減し、一人でも多くの県民の命を守ることを目的として、151のアクションに全力で取り組んでいくこ

津波浸水域、震度分布や液状化、人的・物的被害を想定

レベル2(基本ケース) 液状化可能性



とを公表しました。

なお、今年度中に緊急に対応が必要な事業については、補正予算の計

上や知事、議員、県職員の給料を削減して財源に充てるなどして、推進していくことを議会で決定しました。

浜岡原子力発電所を視察 廃炉の進捗状況、整備の期間や対策等を積極的に情報発信すべきと要請



7 月15日、浜岡原発の視察に行ってきました。中部電力から、地震被害想定に対する防護壁の安全性や、非常事態に対応する様々な対策について、細部にわたり説明を受けました。津波・地震対策の工事現場を目の当たりにして、万が一の災害に備え、対応に万全を期する姿勢は、福島原発をおそった災害の経験が生かされており、その真摯な

伊豆半島 ジオパークの 登録を目指して

糸魚川ジオパークとふくい勝山ジオパークを視察

8 月6日～8日の日程で、日本初の世界ジオパークに登録された糸魚川ジオパークの現状と日本ジオパーク登録の恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークを視察しました。伊豆半島ジオパークが世界ジオパークに登録されるためのヒントや地域・行政の関わりなど、自分の目や耳で確認してきました。現地での活動を通して地元の方々が地域に誇りを持ち、ジオパークに対する取り組みがかなり盛り上がっていることを感じました。今後、伊豆半島に一番必要なことだと思います。この経験は、私自身の活動の参考になりました。



龍宮窟(南伊豆町)



浅間大社



富士市廃棄物最終処理場

日本平ホテル

事業が的確に執行されているか？ 地域にとって必要な事業か？ これらの確認も委員会活動の役割です

らし環境委員会に所属し、県内の委員会所管事業の現場を視察することで、事業が的確に執行されているか確認したり、地域にとって必要な事業であるかの情報を聞き取ったりしています。現場で直接携わっている方々の声は非常に参考になりました。視察に参加して、一つで

も多くの事業を知ることは委員会活動の重要な役割であると再認識しました。

視察先：(6月25、26日視察)
環境衛生化学研究所
あざれあ・日本平ホテル
富士山本宮浅間大社
富士市廃棄物最終処分場